

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報		
・ 学籍番号	BR22009	
・ 氏名	石井大智	
・ 学部	システム理工学部	
・ 学科(コース等)	環境システム学科	
・ 学年(渡航開始時)	3年	
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☒ 氏名も掲載してよい ☐ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望	

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型		
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型		
・ 国・地域名	ポーランド		
・ 都市名	ヴロツワフ		
・ 留学先大学名	ヴロツワフ工科大学		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☒ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☐ 半年～1年（2セメスター程度）		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)		プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☒ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期		
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	ヨーロッパに建築を学びに行きたいという漠然とした理由からヨーロッパに地域を絞り、その中でも比較的物価が安く、治安が安定していたポーランドを選びました。また、ヴロツワフはドイツや周辺諸国にアクセスがしやすく、休みの日などは他国に出かけられるなど楽しい留学生活を送れるのではないかと感じたためです。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済みであり、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	国際プログラムに所属していたため、休学せずに留学ができました。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

基本的に建築学部だけでなく、他学部も同様に対面での授業がととても多い印象でした。(ほかのヨーロッパの大学はオンライン開催の授業が多いかも)また、留学生の国籍も多様で、様々な国の人たちと友達になりやすいと思います。建築学部についてはキャンパスが別なので、大学の中でも特別感がありますが、学食のような場所や自習スペースのような設備は建築学部の中にはないので基本的には授業、グループワーク以外で大学のキャンパスを利用することはありませんでした。なので基本的には寮の部屋で勉強、課題などを行うことが大半でした。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Design studio: Community Buildings	単位数 (現地単位数)	6
科目概要	グループワークorペアワークの授業。最初に自分たちでペアを作り、敷地を選択・調査し、公共施設を提案する演習。毎回の授業までにメンバーと話し合い、作業を進め、授業時には先生とエスキスをしてどんどん提案をブラッシュアップしていく、最終授業でプレゼンテーションをする。特に中間テストのようなものはないが、時折先生の気分で途中経過のプレゼンテーションをクラスの前でやってといわれたり、お菓子パーティが行われたり毎回何が起るかわからない楽しい授業。先生も優しく、クラスの雰囲気も和やかでとてもお勧めできる演習。		
科目名②	Modern Structural Systems	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	現在主流となっている建物の構造、マテリアルを学ぶレクチャー形式の授業。特に難しい数式などを用いることなく、感覚的に構造システムを学ぶことができる。中間、期末プレゼンがある。中間は自分が好きな建物を選び、それらの構造設計、マテリアル、設計法をプレゼンする。期末は中間で選んだ構造形式(例えば鉄骨造、RC造など)を基準とした自分なりの構造設計をプレゼンテーションする。この授業は環境システム学科生にとってはかなり重いと思うので、感覚でとることはお勧めしない。		
科目名③	Museums in the City – Today and in the past	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	美術館の成り立ちから美術館の定義、要素など、美術館を幅広い視点から学ぶレクチャー形式の授業。毎授業先生と生徒が授業の内容について議論をして理解を深めていくといった感じなので、能動的に学ぶ姿勢が重要。自分の国の美術館を紹介する中間プレゼンテーションと、相反する展示物(自分で設定する)をどのように魅力的に展示するかスケッチを使ってプレゼンする期末プレゼンテーションがある。先生の印象もよく、美術館のことがとても好きになれるおすすめの授業。		
科目名④	Polish Language A1 Erasmus/Full time	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	毎週二回授業があり、簡単な挨拶のようなフレーズから基礎的な文法を学ぶ。毎回、ほかの生徒と交流する時間が設けられているため、友達作りにも適している授業。中間、期末とともにライティングのテストがあるが、とても簡単なものであまり負担にはならなかった。ただ、配属教室によってはスピーキングのテストがあったりプレゼンテーションがあったりするそうなので、履修した後はどのように評価が決まるのかしっかりと調べたい。		
科目名⑤	Urban Design – Revitalization of Urban Structures	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	グループワークの授業。過疎化が進む地方の都市を一つ選び、その土地を再活性化させるにはどのようなアプローチが必要か考える演習。毎回、先生とエスキスをして提案をブラッシュアップしていく演習だが、なぜか先生が14回ある授業の中で三回も変わるの、先生が変わるたびに方向性がずれてしまうことが多々あった。また、どの先生も放任型で、あまり良い知識、都市計画の手法を得られた感覚はないので、もし都市計画の演習をとるならばこれ以外の演習をとることをお勧めする。		
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

最初に交友関係を作っておくことが肝要なので、授業が始まる一週間前から始まるウェルカムパーティーや、イベントなどに参加するとよいと思います。渡航前にこういったイベントの案内が来るので、そこで申し込みます。また、アジア人がかなり少ない(日本人は特にいないと思う)ので怖気ずにいろんな国の学生と積極的に交流することが、友達作りにおいて大事です。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

日本から何を持っていこうかという点が一番悩む点かなと思いますが、基本的には留学先で何でもそろいます。ただ、衛生用品、つまりシャンプーとか肌ケアなどのものは日本から持っていくと安心だと思います。留学後振り返ってみて、留学生との会話で日本の文化や作法などのお話をするのがすごく多かったなという印象です。なので、留学前に留学先の文化などを理解する前に改めて日本の文化や宗教観などを理解し、英語で説明できるようになっているとスムーズな会話ができそうです。大学に関しては大方、わからないことはメールで問い合わせをするか、管理部に直接訪問すれば大抵のことは解決できました。渡航前、渡航中いつでも構いません。もしわからないことがあれば自分にメールしてくれればと思います。自分も留学中は先輩や友達にわからないことを聞いて解決したことが多くありました。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）
基本的に留学先大学の手順通りに書類を提出していけば問題ありません。特に困ったことはなかったと思います。ただし返信は遅かったと思うので、なるべく早めに行動することが大事です。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）
（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）
ビザを取得するためには大使館に行かなければならないのですが、それが結構大変だと思います。ポーランド語で書かれたウェブサイトを使って大使館予約をしたり、ビザの申請書の作成をしたりしなければならないので、わからないことがあれば大使館に直接聞くといいと思います。また、申請した後は大体二週間くらいビザの発行に時間を要するので余裕を持って行動することを意識したほうが良いです。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。
国際部の方たち、先輩、友達など、わからないことがあればそういった方たちに積極的に尋ねることが大事です。

滞在先の宿泊施設などの情報（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

- 宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）
協定校の寮
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）
協定校に出願する際に、寮を利用するかどうか聞かれました。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
タクシー（Boltというアプリで手配しました）
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
バス、トラムを使って15分くらい。歩いたら50分くらいかかります。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
基本的に最低限のものしかありません。寮に到着したらまずはベッド周りのものを買ったり、キッチン用品を買う必要があります。また、キッチンはフロア共通、トイレ、シャワーは四人で一つを共有です。二人で一つの部屋を使うので、部屋は狭く感じると思います。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	22PLN(約850円)	学生証発行料
往復航空券代(往復)	253,535円	往復航空券代
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	101,970円	保険料175日間
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	約40,000円	寝具、生活用品など
計	¥396,355	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	640PLN(約26,000円)	毎月15日までに指定の口座に入金する必要があります
食費/月	25,000円	
その他/月	約10000円	毎月の光熱費代+スマホのSIM代+日用品
計	¥61,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	80,000円	9月から1月(5か月間)まで支給されます。
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

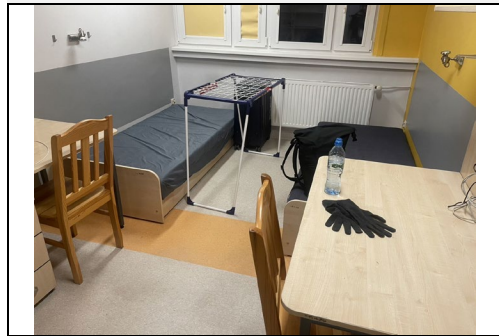
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

建築学部の前にある公園から撮った写真です。ハリーポッターのお城のようなデザインです。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

ルームメイトと共有して使う部屋です。マットレス、棚、机が常備されています。

その他、任意の写真



説明文

ヴロツワフの中心地です。週末になると多くの人でにぎわっています。

その他、任意の写真



説明文

ヴロツワフのクリスマスマーケットです。12月に入ると二週間から一か月くらい毎日にぎわっています。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。